

自分を好きになる

発行日 2019年10月29日

◎放課後学習委嘱式

10月9日（水）に放課後学習の委嘱式が行われました。3年目を迎えた今年度も、地域企業の若手社員の方や町内の教員OBの方に、自主学習のサポートをいただきます。全学年から38名の参加希望者がありました。以下、委嘱式での学校長の挨拶を紹介いたします。



地域に支えられた進路実現

一昨年度からはじめた放課後学習も3年目を迎えることができました。

1年目は3年生のみでしたが、昨年は、「是非1・2年生にも放課後学習を」との保護者の声に応え、全学年から参加者を募るようになり、今年も引き続き全校から38名の生徒が放課後学習に取り組みます。

講師の先生も今年は、協力下さる企業も増え、11社16名、教員OB11名を加え総勢27名の講師の皆様にご協力をいただくことができました。

全国学力学習状況調査の結果を見ると、「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」という問いには、全国平均50.4%に比べ、本校は38.0%に過ぎません。この、自ら考えて学習する習慣が身についていないことを心配しています。

この課題を解決するために一昨年度から水曜の清掃を無くし「自学の時間」を設けたり、予習を前提に行う「教えて考えさせる授業」に取り組んだりしてきましたが、この「放課後学習」も、自主的に学習する力を高める一助になると思っています。

ただ、水曜の放課後1時間半放課後学習をしたからといって、それが学力向上に直結するとは考えていません。大切なのは、自ら参加しようと決め、真剣に学習に取り組む環境の中で、一人になって学習に打ち込む体験が、家庭に帰り、一人になっても、自ら計画を立て、学習に取り組む意欲と、習慣を築き上げていくきっかけになればと期待しているのです。

生徒諸君。この放課後学習は、自学自習を基本としています。学力は人から与えられるものではありません。自ら学ぼうと取り組むことでしか確かな学力は身に付かないのです。

ここに集まった皆さんは、教えてもらうのを待っているのではなく、自分で勉強してもよく分からないことをこの場にきて質問するのだという姿勢を大切にしてほしいと思います。

企業の方々にもご協力いただける「放課後学習」は、他の地域では類を見ない取り組みで、昨年は新聞で紹介されたのに加え、SBCラジオ「信州うわさの調査隊」でも放送されました。この放課後学習は、「坂城の子は坂城で育てる」という町の教育スローガンの象徴であると思います。

この生徒たちが、学ぶ楽しさを感じ、自ら学ぶ意欲と習慣を身に付けられるよう、講師の皆様には半年間お世話になりますが、よろしくお願いいたします。

以下、取材していただいた信濃毎日新聞（10月10日付）の関連記事を掲載します。



10月16日（水）に第一回の放課後学習が行われました。3名の講師の先生方に2会場に分かれていただき、スタートしました。委嘱式の時に、昨年から参加してくださっている講師の方から「この時間に質問を探すのではなく、家庭学習をしたときに質問したいところを見つけておいて、この時間にはすぐ質問ができるように有効な時間にしてほしい」というお話がありました。遠慮せずどんどん質問しましょう。「聞くは一時の恥聞かぬは一生の恥」ということわざもありますが、ここでは、聞くことも恥ではありません。

社会、理科、数学、英語が対象で、生徒が問題集などを持ち込み、不明な点を講師に質問する形で行う。堀口潔校長が町内企業を回り、11社の16人が協力。教員OBらも加え、計27人が交代で講師を務める。9日の委嘱式では講師が自己紹介し、「家で学習し、質問したいことを明確にして放課後学習に来てほしい」などと呼び掛けた。講師として初めて参加する日精樹脂工業の伊藤陽香さん(27)は「今でこそ中学生が学んでいることな

で準備資金を募っている



◎性教育（2学年）

10月7日に2学年で性教育が行われました。男女に分かれて学年職員による授業です。照れてしまったり、苦手意識があったりする人もいますが、大切な学習であることを認識し、真剣に耳を傾けていました。

